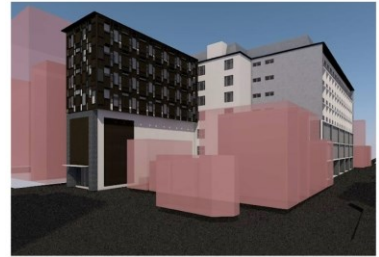


CASBEE® 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE京都-新築(2015年版) | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2015 (v.1.0)

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|-----------------------|--------|-------------------|
| 建物名称 | (仮称)JAグループ京都新ビル建設工事 | 階数 | 地上7F地下1F |
| 建設地 | 京都府京都市南区東九条西山王町1 他19筆 | 構造 | RC造 |
| 用途地域 | 商業地域, 防火地域 | 平均居住人員 | 450 人 |
| 気候区分 | 6地域 | 年間使用時間 | 8,760 時間/年 |
| 建物用途 | 事務所, ホテル, | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2020年3月 予定 | 評価の実施日 | 2017年8月21日 |
| 敷地面積 | 3,365 m ² | 作成者 | 株式会社内藤建築事務所 神先 誠司 |
| 建築面積 | 2,743 m ² | 確認日 | 2017年8月23日 |
| 延床面積 | 19,679 m ² | 確認者 | 株式会社内藤建築事務所 神先 誠司 |



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.2

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3

| 3 設計上の配慮事項 | | |
|--|-----------------|-----------------------------------|
| 総合 | | その他 |
| 耐用年数の高い建築材料採用、「持続可能な森林から産出された木材」のうち、地域産木材を使用している | | 特になし |
| Q1 室内環境 | Q2 サービス性能 | Q3 室外環境(敷地内) |
| F★★★★をほぼ全面的に採用している | 耐用年数の高い建築材料採用 | 地域性・アメニティへの配慮に関して比較的多くの取組みが行われている |
| LR1 エネルギー | LR2 資源・マテリアル | LR3 敷地外環境 |
| LED照明の採用 | 解体時において分別が容易である | 適切な量の駐車・駐輪スペースの確保 |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される